

様式第2（第9条関係）

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和7年 2月21日

犬 山 市 議 会

議 長 柴 田 浩 行 様

議員名 鈴木 伸太郎

下記のとおり、研修会の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和7年 2月 8日(土) ~ 2月 9日(日)
(2) 場 所	彦根市
(3) 形 態	会派 () : その他 (鈴木のみ)
(4) 内 容	自治立志塾 in 彦根 報告書別紙
(5) 成 果 ・ 提 言	報告書別紙



出張報告書 自治立志塾 in 彦根

令和7年2月8日(土) ～ 2月9日(日)

関西自治体学会主催の講演会、犬山市にも縁の深い西村先生の2日間にわたる講義を受講した。「都市のまちづくり」が主なテーマで、都市機能の配置、景観、制度の観点からの街の在り方を学んだ。県都はじめ、代表的な都市を事例に伺った。

まちはそれぞれ異なり、自然・歴史・人・文化・祭り・市場・産業・地形等により、すべて違う顔を見せる。あらゆる街にストーリーがある。

日本の都市は計画都市が多い。駅・道路・バイパス・学校・役所・道路元標等がしっかり整備されている。

その上に複雑な歴史が重層的に重なっている。

○城下町県都

- ・16C～17Cの短期間に生まれた。その後は造られなかった。
- ・明治になり、役所・学校・裁判所・刑務所等、行政施設をすべて整備する必要があった。
- ・武家屋敷は拝領であったため、明治維新後、土地の確保をしやすかったという理由で県都は城下町が多い。
- ・名古屋、広島、甲府、大津、静岡、徳島の都市の成り立ちを聴講。

○宿駅から発展した都市

- ・線形の都市
- ・江戸時代は木戸から木戸が宿場町の範囲だったが、明治になり、街の範囲が判らなくなった。
- ・本陣、脇本陣、高札場、神社、木戸が宿場町の構成
- ・浦和、大宮の事例を聴講

○産業都市

- ・近世以来の地場産業
- ・近代の装置型産業（規模が大きい）
- ・複合的産業都市
- ・原料調達・製造プロセス・消費地・労働力の存在

↓

社宅街・福利厚生施設

↓

飲み屋街・差別・環境問題・・・・

- ・海外の都市には劇場があるが、日本は幕府がその多くを無くした。
- ・佐渡、高岡、湯浅、野田、大牟田、延岡の事例を聴講

○中世都市

- ・守護城下町、寺内町、港町、自由都市・・・さまざまな事例あり
- ・消えた中世都市・・・平泉・一乗谷・草戸千軒等
- ・政治都市・・・山口、鎌倉、足利
- ・城郭由来・・・益田
- ・古代都市モデル・・・土佐中村

上記各都市の事例を聴講

○犬山市への提言

今回は、犬山の城下町ではなく、私の地元、楽田のまちづくりについてのヒントを求めて参加した。楽田は古代から神社があり、16Cには城があり、戦があり、寺院が置かれ、江戸時代には街道が整備され、新田開発が行われた。

そのような歴史を地域の住民と共に研究し、地域のつながり、地域への愛着を増進させていく活動をしていく。

以上